都市公園の土や砂から鉛検出

The Knights

東京大学と国立環境研究所の研究で、80 年代中頃まで自動車の排出ガスに含まれていた鉛が都市公園の土や砂場に積もり、現在でも汚染が深刻な状態になっていることが分かりました。2002 年 3 月から 6 月に関東地方の公園 25 ヶ所、46 地点から土や砂場の砂の鉛の量を分析したところ、手に付きやすい土砂（粒径 0.15㎜ 未満）で、平均 46.7ppm の鉛が検出しました。

しかし、公園内の表土については、入れ替えやかき混ぜをしている砂場の砂（14 地点で平均 25.4ppm）よりも濃度が高く 32 地点で平均 67.3ppm となりました。今回、分析をした全 46 サンプルのうち、表土の 6 サンプルが 150ppm を超え、最高 249ppm の地点もありました。土壌汚染対策法では鉛の含有量が基準値の 150ppm を超えた場合、汚染土の除去などの対策が必要としています。

また、研究グループは検出した鉛を原子レベルで解析したところ、20～30 年前までガソリン添加剤に使用されていた鉛化合物と一致したことが分かり、排出ガスに含まれる鉛化合物が降り積もった由来であると結論づけました。研究者はすぐに健康被害が現れる数値ではないとしながらも全国的な調査や対策の必要性を指摘しています。

資料:2004 年 2 月 1 日付　朝日新聞

生活環境箇所　稲垣裕子

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社
〒336 -0015 埼玉県さいたま市南区大字太田窪 2051 番地 2
TEL.048-887-2590　FAX.048-886-2817
ＵＲＬ：www.knights.co.jp

■事業内容■
1 環境管理に伴う調査･測定･化学分析
2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明
3 ビル管理に伴う水質検査･空気環境測定
4 水道法第 20 条に基づく水質検査
5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査
6 労働衛生管理に伴う作業環境測定
7 トータルサニテーション管理
8 委託試験･研究･開発